

きた住まいるサポートシステム

パスワード検索 | ログアウト | (税) 発行種別番号/ハリス 様 (004022)

●メンバー検索 ●事業者専用マイページ ●事業者支援ツール ●ご利用方法 ●保管手数料 ●お問い合わせ

住宅データの新規登録

住宅データ名 [8桁・半角]

築年・水準 住宅の種類

きた住まいるブランド きた住まいるブランド住宅
住宅登録名 北方型住宅水準
※来た住まいるメンバーの方 北方型住宅ECO水準
北方型住宅2020水準
地域型住宅 1 北方型住宅ZERO水準
北方型住宅水準
その他の新築住宅
地域型住宅 2 その他の既存住宅
省エネ基準適合住宅

※注1: きた住まいるブランド住宅等に登録された「北方型住宅」、「北方型住宅ECO」、「北方型住宅2020」、「北海道R住宅」とする場合には、「きた住まいるブランド住宅」を選択してください。〔きた住まいるの基本要件である一次エネルギー消費量等級4以上が必要となります。〕なお、「北方型住宅水準」、「北方型住宅ECO水準」、「北方型住宅2020水準」、「北海道R住宅水準」については、当面使用することはできますが、きた住まいるブランド住宅とは異なりしますので、ご注意ください。

※注2: 「通常データ」は個別の住宅データの登録時に選択してください。「ひな形データ」は自社の共通情報あらかじめ入力しておき、コピー元として利用する場合に選択してください。なお、「通常データ」として作成してから1年経過しても保管申請がされなかった場合、データは削除されますのでご注意ください。

きた住まいるメンバー検索 | マイページ | ご利用方法 | お問い合わせ

© 2012-16 HOKKAIDO GOVERNMENT. ALL RIGHTS RESERVED.

「北方型住宅ZERO」 及び 「北方型住宅ZERO水準」 の項目が増えました

■ お知らせ ■
-1-

新規登録時の

きた住まいるブランド住宅登録名の項目で
「北方型住宅ZERO」および
「北方型住宅ZERO水準」が
選べるようになりました。

北方型住宅ZERO の詳細について

■こちら■をご覧ください

※北方型の住まいLabの「北方型住宅ZEROについて」のページが開かれます。

■URL■ <https://www.kita-smile.jp/kenchiku/post-675/>

■ お知らせ ■

-2-

省エネルギー性能の入力欄で

「北方型住宅ZERO」の

ポイント入力ができるようになりました。

脱炭素化に資する対策1①		
● 合計ポイント（脱炭素化に資する対策1） 自動計算（入力不可）	16	✓
外皮性能の強化		
● 外皮平均熱貫流率UA値を0.28[W/(m ² ・K)]以下とする	3	※1棟れか
● 外皮平均熱貫流率UA値を0.20[W/(m ² ・K)]以下とする		※1棟れか
● 窓の熱貫流率を1.2[W/(m ² ・K)]以下とし、かつ日射熱取得率ηを0.3以上とする		
通風・ひさし等の活用		
● 夏季に効果的に通風を行える窓の仕様及び配置とする	1	
● 採光窓に設置する主たる窓に有効なひさしを設置する		
高効率設備等		
● 第一種熱交換換気システムを採用する	3	
● パッシブ換気システムを採用する		
再生可能エネルギーの活用		
● 太陽光発電設備を屋根面にのみを設置する		※2棟れか
● 太陽光発電設備を壁面にのみにパネル容量2kW以上を設置する		※2棟れか
● 太陽光発電設備を屋根面と壁面に合計パネル容量5kW以上を設置する	6	※2棟れか
● 太陽光発電設備に加え熱帯湿気式HP給湯器を採用する		
● 太陽光発電設備に加え蓄電池設備を設置する		
● 太陽熱を利用した給湯装置を設置する		
● 地中熱ヒートポンプ温水暖房機を設置する		
● 薪や木質ペレット等の木質バイオマスを活用した暖房機器を設置する	1	
地域資源の活用		
● 主たる構造材に産産木材等を活用する	2	

❓をクリックすると
ポイント一覧表が
開きます

■ 定量的に評価が可能な対策		
	対策	ポイント数
外皮性能の強化	外皮平均熱貫流率 UA 値が0.28 [W/(m ² ・K)]以下とする	3
	外皮平均熱貫流率 UA 値が0.20 [W/(m ² ・K)]以下とする	5
	窓の熱貫流率を1.2 [W/(m ² ・K)]以下とし、かつ日射熱取得率ηを0.3以上とする	3
通風・ひさし等の活用	夏季に効果的に通風を行える窓の仕様及び配置とする	1
	採光窓に設置する主たる窓に有効なひさしを設置する	1
高効率設備等	第一種熱交換換気システムを採用する	3
	パッシブ換気システムを採用する	1
再生可能エネルギーの活用	太陽光発電設備を屋根面にのみを設置する	3~6 ^(※1)
	太陽光発電設備を壁面にのみパネル容量2kW以上を設置する	3
	太陽光発電設備を屋根面と壁面に合計パネル容量5kW以上を設置する	6 ^(※1)
	太陽光発電設備に加え熱帯湿気式HP給湯器を採用する	5
	太陽光発電設備に加え蓄電池設備を設置する	5
	太陽熱を利用した給湯装置を設置する	5
地域資源の活用	地中熱ヒートポンプ温水暖房機を設置する	2
	薪や木質ペレット等の木質バイオマスを活用した暖房機器を設置する	1
その他	主たる構造材等に産産木材等を活用する	2
	地域特性が踏まえられた脱炭素化に資する対策	別途設定

(別表1)

	太陽光発電容量	ポイント数	
		多量区域	多量区域外
屋根面 (別表1)	1kW以下	3	4
	2kW以下	4	5
	6kW以下	5	6
	6kWを超える	6	7
壁面	2kW以上	3	3
屋根面と壁面の併用	5kW以上	6	7

住宅の性能に該当する項目のポイントをご確認のうえ入力ください。